

告 辞（案 小学校・卒業式）

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

今、卒業証書を手にしている皆さんの心には、小学校生活での数々の出来事が思い起こされていることでしょう。友達との話し合いで考えを深めた学習、委員会活動やクラブ活動など、みなさんは多くの人との関わりの中で、学ぶ力や、他人を思いやる心、スポーツに親しむ意欲と体力を身に付けてきました。この学校で学んできた日々に、どうぞ自信と誇りをもってください。

それとともに、先生方をはじめ、職員の方々、地域の方々、そして今日の卒業の日を、誰よりも喜んでくださっている保護者の方々が、皆さんの成長を見守り、励まし続けてくれたことを忘れずにいてください。「ありがとうございます」という感謝の気持ちをもち、これからの毎日をよりよい日々にしていてください。

さて、皆さんは立川市在住のジャズピアニスト山下洋輔さんを知っていますか。山下さんは、国立音楽大学を卒業後、山下洋輔トリオを結成しました。独特のスタイルでピアノをエネルギーに演奏し、ジャズ界に大きな衝撃を与え、海外でも高い評価を得ています。最近では、立川市名誉市民、たちかわ交流大使として、様々なイベントに参加したり、市内の中学校で演奏したりするなど地域でも幅広く活躍されています。そんな山下さんは、「他の勉強では同級生にかなわない。ジャズだけはやりきる」という思いで、音楽の勉強をつづけ、日本で初めてのフリージャズを演奏したといわれるほど、多くのミュージシャンに影響を与えました。その後も、映画音楽や小説、エッセイなども手掛け、現在も多くの分野で活躍されています。

皆さんが、将来、大人となって世界のどんな地域で活躍するにしても、

山下さんのように、「立川市民科」で学びを通して身に付けた地域とのつながりを大切にしながら、最後までやりきる人に成長して欲しいと思います。

皆さんは、四月から、中学生です。中学校での三年間は、社会のためにすすんで行動ができる力を身に付ける、大切な時期です。自分が思うようにならないこともあるかもしれませんが、しかし、そんなときでも、自らすすんで取り組み、最後までやり抜いて、自分の良さを輝かせていく、強い心の持ち主になってください。

そして、友達や周りの人たちを大切にすることを常に心に留め、私たちのまち立川の未来に向かって、社会で生き抜く力を培っていくことを期待しています。

保護者の皆様におかれましては、お子様が晴れの卒業の日を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。この六年間、お子様を温かく見守り、支えていただきながら学校をご支援いただきましたことに感謝申し上げますとともに、今後も引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、校長先生をはじめとする教職員の皆様、そして本校のために、様々な方面からご支援、ご協力いただきました地域の皆様方に感謝を申し上げ、告辞いたします。

令和二年三月二十五日

立川市教育委員会

告 辞（案 中学校・卒業式）

卒業生の皆さん、本日はご卒業おめでとうございます。

九年間の義務教育の全課程を修了されたことに、心よりお祝い申し上げます。

皆さんの中学校生活は、どのようなものだったでしょうか。仲間の笑顔や支えが財産となった三年間だったのではないのでしょうか。そして、この学校の一員として、新たな一ページを刻む三年間だったのではないのでしょうか。

皆さんは、東京都で一番古い学校が立川市にあることを知っていますか。立川市の学校は、明治三年三月三日に板谷元右衛門氏の「村の発展は教育にある」との信念のもとに、柴崎町に創設された郷学校として約四十名の児童と共に始まりました。当時は、授業料もあり、学用品も自分で用意しなければなりませんでしたが、地域の方々の努力で、無料で多くの子どもたちが通えるようにしたのです。このように、立川市の教育は、地域の方々の思いに支えられて、全国に先駆けてスタートしたのです。

そこにあるのは、地域のみなさんの一人でも多くの子どもたちに教育を受けさせてあげたいという思いで、その根底にあるのは、未来は教育が切り拓いていくという強い信念と志でした。こうした高い志は一五〇年以上過ぎた現在まで脈々と引き継がれ、今年度、市内全校がコミュニティ・スクールとして地域と連携した教育活動を行う取組につながっています。

このような立川市で皆さんは義務教育の全課程を学んできたのです。皆さんもこの三年の間に、立川市民科を通して、地域学習を進めたり、地域の方から学んだり、ボランティア活動に取り組んだりした思い出があると思います。

そのような活動の一つ一つが皆さんの視野を広げ、地域との関わりを深めていくことにつながったのではないでしょうか。皆さんは、学校での学び、地域と連携した学びを通して、立川市がもつ高い志を引き継いできたのです。

義務教育を終え、新たな世界に飛び立つ皆さんの心の中には、希望に満ちた気持ちもあれば、不安が募る気持ちもあると思います。自分の思い通りにいかないものかしさも感じることでしょう。しかし、皆さんが身に付けてきた、誰にでも心を開いていくオープンマインドの精神、チャレンジ精神は、夢へと進む後押しとなって皆さんを支えてくれるはずです。本校で学んだ日々、この地域で学んだ日々、誇りをもって羽ばたいて行って欲しいと思います。そして、いつの日か、この地域の担い手としてよりよい社会づくりに向けて活躍されることを期待しています。

保護者の皆様におかれましては、義務教育を立派に終えられ、卒業証書を手にしたお子様をご覧になり、お喜びもひとしおのことと存じます。誠におめでとうございます。お子様の卒業後も学校は地域の要として、地域に貢献してまいります。今後とも本校の教育活動にご理解・ご協力いただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、これまで熱心にご指導いただきました校長先生はじめ教職員の皆様、本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただきました保護者の皆様、地域の皆様に深く感謝申し上げます。とともに、改めて卒業生の皆さんの前途を祝して告辞いたします。

令和二年三月十九日

立川市教育委員会

告 辞（案 小学校・入学式）

一年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんは今日から小学生です。小学校では勉強や運動をしたり、休み時間に友達と遊んだり、楽しいことがたくさんあります。もしも困ったことや分からないことがあったら、先生方やお兄さん、お姉さんたちに聞いてください。きっと優しく教えてくれます。

また、先生以外にも学校のために働いてくださる方がたくさんいます。みなさんの登校の安全を見守ってくださる方々や学校の勉強をお手伝いしてくださる地域の方々など、みなさんが楽しく学校生活を送れるように、たくさん協力してくださいます。みなさんの応援団です。学校を応援してくださるみなさんに、「ありがとうございます」の気持ちを込めて、大きな声で、元気に挨拶ができる小学生になってください。そうすると学校や地域全体がもっと明るく元気になるります。

保護者の皆様、お子様のご入学を心よりお祝い申し上げます。

子どもたちは次代を担うかけがえのない存在であり、我がまちの未来を築く市民です。保護者の皆様、地域の皆様、学校、その他多くの関係者が連携し、子どもたちの「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育み、その力を存分に発揮することができるよう、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、教職員の皆様には、子どもたち一人一人が、充実した学校生活を送れるよう、温かくご指導くださいますことをお願い申し上げ、告辞といたします。

令和二年四月八日

立川市教育委員会

告 辞（案 中学校・入学式）

新入生の皆さん、本日はご入学おめでとうございます。

皆さんは、今日から始まる中学校生活に、期待と希望に、胸を膨らませていることと思います。

中学校の三年間は、新しい知識や技能を身に付け、豊かな人間性が育つ大切な時期です。

自分の目標をしっかりともち、すすんで学習や運動に取り組み、学ぶことの厳しさや楽しさを体験して、確かな力を付けていってください。

さて、今年東京で行われる最大のイベントと言えば、東京2020オリンピック・パラリンピックです。7月から8月にかけて世界中の人々が東京を訪れ、世界トップレベルのアスリートの競技や演技を観戦します。その中で、令和2年7月13日に立川市内を走る聖火リレーは、子ども未来センター南をスタートし、聖火を迎えるイベント会場となる現在建設中の新街区「GREEN SPRINGS（グリーンスプリングス）」へと向かう予定です。また、立川はベラルーシ共和国新体操ナショナルチームのキャンプ地に指定されており、昨年は事前キャンプが行われました。本番でも立川市に滞在していただく予定です。

このように、世界的なイベントに関わったり、他の国の方々と触れ合える機会はなかなかないと思います。中学生としてのオリンピック・パラリンピックをぜひ積極的に活用してほしいと思います。

また、皆さんはこれからの中学校生活で、初めてのことや難しいことに何度となく挑戦することになるでしょう。そのときは、周りにいる友達とお互い助け知恵を出し合い、前進していくてください。そして皆さんが、小学校の立川市民科で学んだことを地域貢献活動などを通して実践し地域のリーダーとして、さらにたくましく成長し、活躍してくれることを期待しています。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。中学校の三年間は、子どもたちにとりまして、ものの見方や考え方の広がる時期です。特に、心の発達の著しい時期であるだけに、迷ったり悩んだりする時期でもあります。

ご家庭におかれましても、お子様の願いや思いを受け止め、よりよい生活習慣が築かれるように、努めていただきたいと思います。そして、学校としっかりと連携し、子どもたちの健やかな成長のため、学校教育へのご理解とご協力を、お願い申し上げます。

最後になりましたが、校長先生をはじめ、教職員の皆様、そして、地域の皆様に対しまして、子どもたちへ深い愛情を寄せられ、よりよい校風を築いていかれますよう、お願い申し上げます、告辞いたします。

令和二年四月七日

立川市教育委員会